

海岸植栽事業における前準備としての除草作業

NPO 法人 ゆいの湘南海岸植物保全再生活動に、茅ヶ崎中央 RC も賛同し昨年 11 月に植栽作業を行いました。今年度も継続事業として社会奉仕委員会で協力することになりました。その準備作業として 9 月 10 日(日)に昨年行った植栽場所の雑草の除去作業を行いました。当クラブからは峯山会長、野崎幹事、奉仕プロジェクト委員会より倉知国際委員長、小山委員、そして石田会員、倉澤会員、岡崎会員、山口英雄会員、清野会員とお子さん、会員で NPO 法人 茅ヶ崎海岸づくり推進機構代表の山口洋一郎会員、社会奉仕委員長の大村会員のメンバー 11 名とお子さん一人の当クラブ参加者と茅ヶ崎海岸づくり推進機構、日大の研究会、ゆいのメンバー合わせて計 26 名で午前 9:00 より除草作業を始めました。

前日までは曇りの日もあったりして、雨も心配しておりましたが一転真夏のような日照りで気温も上昇し、海岸での除草作業としては大変過酷な条件となりましたが、皆さん一丸となって作業に励んでいただいたおかげで予定していた部分の倍の面積の除草ができました。時間も 11:00 まで予定しておりましたが 10:30 程で終わることができました。

ただ除草作業も終わり近くになって、ゆいの荒井代表と野崎幹事の話で昨年の植栽は草と草の間隔があきすぎていてほとんど育たなかったのではと、今年の植栽はもっと間隔を狭めて行いましょうとなりましたが、確かに終わってみれば昨年植えた植物は跡形もない状態で、昨年の植栽は何だったのかとの疑問も残りましたが、やはり今まで雑草しか生えていなかったところに海辺の植物を育てていくのは、一朝一夕ではいかない大変な事業なのだとも認識させられました。

除草前



除草後

